

日 時	2025 年 7 月 12 日 (土) 10:00 ～ 12:00 天候：薄曇り
場 所	湿地、2 階交流スペース

講座・活動名	湿地モニタリング調査 & 観察園全樹木調査 毎月第 2 土曜定例
参加者	18 名 (うち子ども 名) 構成： 講師 2 名、(環境局 1 名) NTT 西日本関西支店 5 名、エコボラ 8 名、(一般 1 名) (事務局 1 名)
講師名	鈴木真裕 (大工大)、北川ちえこ* (エコボラの場合氏名に * 印をつける)
内 容	生き物調査、標本作製、データ入力、(報告書作成) 毎木調査準備
使用器材 資材・道具	(持参、借用等も含む) PC、大型モニタ、マイクロスコープ、調査用紙、たも網、金魚網、バケツ、バット、タッパ、スポイト、エチルアルコール、バイアル瓶、ピンセット、古新聞紙、ラベル用中性紙、ケント紙、クリアポケット、タックラベル、水性のり、もんどり、鯉節、きな粉
振り返り エコボラ通信に 掲載することが あります。	・大阪府準絶滅危惧種のキイトンボが見つかり、水面に倒れ込むようにして草が繁っている場所をこのむので、この湿地環境づくりが適しているといえる ・同じく準絶滅危惧種のヤスマツアメンボも、木陰の中の水辺をこのむので、この場所では連続して見つかった ・セリは見つかったはいたが、今回花が咲いたことを確認できたのはよかった ・アメリカザリガニは、5 回すくい採り調査で 14 個体、その後の駆除すくい採りで 88 個体、もんどりで鯉節 3 個体、きな粉 15 個体 計 120 個体を駆除した ・先月、繁茂してきたアレチヌスビトハギとセイタカアワダチソウを抜き取ったが、今回、アレチヌスビトハギが復活していたので、選択的に抜き取りを行った ・湿地の周囲の通路には、外側から倒れ込んでくる草もあり、通行者がそれをよけて湿地側に踏み込んで、岸が崩れるため、通行しやすい程度に外側の草も刈り取った ・セイタカアワダチソウの数は減っていたが、大きく成長したものは抜き取った ・樹木ラベルは、風雨ではずれたものを調べ、付け直しの準備を行い、付け直す際には、強いタッカーとシュロ紐を 2 重にするなど、検討した
事務局への 伝達事項 次回案内等	★スケジュール変更について 9 月 13 日 (土) は、ご都合により、9 月 7 日 (日) 10 時に変更 11 月 8 日 (土) は、ECO 縁日と重なるので、11 月 9 日 (日) 10 時に変更

スタッフ氏名	活動内容	参加者氏名	活動内容
竹原秀樹	植物調査	(北川ちえこ)	植物調査
渡辺喜代子	植物調査	(鈴木真裕)	動物調査
芝崎美世子	動物調査	(環境局 1 名)	動物調査、連絡調整
中谷憲一	動物調査	NTT 西日本 5 名	樹木調査準備
林耕太	植物調査	(事務局 1 名)	アレチヌスビトハギ除去
西田敏子	植物調査	(一般 岡谷崇宏)	プランクトンほか採集
鈴川博司	実生樹木苗、アレチヌスビトハギ除去		
榎元慶子	アレチヌスビトハギ除去		

いずれかに○→(○)裏面に図面、写真等を添付した ()裏面なし ()詳細はファイルで提出

湿地の状況 250712



北方向

給水中

水はやや濁り、緑色がかっていた

南方向



湿地の調査 250712



もんどの設置2か所
深いところ(南岸) 250712

アメリカザリガニの駆除
すくい採り調査



湿地の調査 250712



植物調査 250712



水生生物のソーティング 250712

湿地の調査 250712



アメリカザリガニは
5回すくいとり 14個体 (右)
その後の駆除 88個体 (上)

アメリカザリガニの駆除

先月より増えた、もぐっていたのが出てきたか



アメリカザリガニ

もんどり：アメリカザリガニ
鯉節 3個体 (カワリヌマエビ属8個体)
きな粉 15個体 (カワリヌマエビ属7個体)

湿地の生き物 250712



キイトンボ
大阪府準絶滅危惧種

タチスズメノヒエが水面に倒れ込んでいた
草が繁っている水辺がよかったのかも
250712



ギンヤンマ属の一種



シオカラトンボ

湿地の生き物 250712



ヤスマツアメンボ
大阪府準絶滅危惧種

木陰の水面をこのむ
250712

コマツモムシ多数
250712



コマツモムシ

湿地の生き物 250712



エビ類は多数
250712



ガフリスマエビ属の一種



ヒメタニシ



イトミミズ亜科の一種

ユスリカ科

湿地の生き物 250712



セリ



ツユクサ



イグサとミソバ

湿地の生き物 250712



湿地の状況 250712

アレチヌスビトハギの抜きとり

➤ 今後定期的に草取りが必要



観察園全樹木調査 250712 樹木ラベルのラミネートと紐のとりつけの検討



落ちていたプレート再設置



再設置準備と小型タッカー

- 札が外れた樹木の確認
- 落ちていた札は回収した
- 片方だけタッカーが外れたものがあった
- シュロ紐を2重に結ぶなどして、工夫をしていきたい

細いシュロ紐で固定しているプレートは3ミリのシュロ紐に徐々に更改していきます

報告・撮影：井上文夫（NTT西日本）



風車の大花壇

トイレ横の
No.263カリン

大花壇とトイレの間に「ウメの木」があり
No.264,,265のプレートを昨年設置しています

湿地の生き物 250510

未同定緑藻類 岡谷崇宏さんから報告
ヒビミドロ属、アオミドロ属

